

# 事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされており、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

## 東京都福祉サービス第三者評価(2023年度) 評価結果報告書

2024年2月27日

社会福祉法人八晃会  
宝光保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1  
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

認証評価機関番号 機構 03 - 081

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 中込 重秋

印

以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H1002063	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	②	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	③	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	④	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	⑤		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	宝光保育園			
事業所連絡先	〒	190-0182		
	所在地	東京都西多摩郡日の出町平井3389-1		
	TEL	042-597-0876		
事業所代表者氏名	荒井 寿美代			
契約日	2023年	7月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2023年	10月	10日	
利用者調査結果報告日	2023年	12月	5日	
自己評価の調査票配布日	2023年	10月	10日	
自己評価結果報告日	2023年	12月	5日	
訪問調査日	2023年	12月	13日	
評価合議日	2023年	12月	13日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査は共通評価項目及び事業所と協議のうえ設けた独自質問により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面・ポスターの配信や配付・掲示等で保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と提出促進を兼ねたチラシの配信・配付、提出期限の延長など、回答率向上にも努めた。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

<p>1</p>	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人理念「和」 和する処であることが法人の存在意義であり法人の価値です。</li> <li>・誓願「幸せはぐくむ宝箱 笑顔・安心・元気」 宝光保育園は子ども・保護者・職員・地域の人たちの幸せを育む宝箱のような保育園であり、そこには笑顔・安心・元気があふれている。そんな保育園であることを願い誓いを表したものが誓願です。</li> <li>・保育方針「安心して過ごせるように」「のびのびとおおらかに」「共に喜び合えるように」 園周辺の自然の中で、子どもたちがのびのびと様々な経験をしながら、優しい心と丈夫な体を育むことが目標です。</li> <li>・心得「感応道交 脚下照顧 王三昧」 人はみな違う。感じ応じなければ道は交わらない。そのためにはまず自らを顧みること、そして自らの役割に自信を持つことが大切である。これを職員の規範としています。</li> </ul>
<p>2</p>	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>保育所は入所児童だけでなく地域の子育てを応援する役割を担っています。様々なご家庭がありそれぞれの事情があるからこそ、相手の立場や思いを優しい気持ちを持って一緒に考えようとするのが職員にとって最も大切なことであり、同時にその能力を有していることが、当法人の職員として必要な資質だと考えています。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>未来を切り拓いていく子どもたちの成長に寄り添いその育ちに関わること、それは間接的に未来を創ることです。私たちは子どもの育ちに寄り添い、保護者の気持ちに寄り添いながら未来を創る尊い仕事に就いているのだという使命感と充実感を持ち、日々研鑽を重ね、地域の中で信頼される保育園を目指すプロの集団の一員としての自覚と誇りをもってもらいたいと考えています。</p>

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯95(在籍児童数120)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	120
利用者家族総数(世帯)	95
共通評価項目による調査対象者数	95
共通評価項目による調査の有効回答者数	56
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	58.9

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」69.6%・「満足」23.2%の計92.9%と高い値を得ており、設問別でも「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「整理整頓・清潔」など、すべての質問で80%台～100%の高い支持を得ている。自由意見では「自然が多く、心身ともに健やかに育つ環境が整っており、先生方が日々の保育や行事などで常に子どもたちのことを考え、熱心に取り組んでくれ、健康を考え、豊富な食材を使用し、栄養満点な給食やおやつがあり、地域にも開かれ、夏祭りや町のイベントなどに積極的に参加している」「子どもの気持ちに寄り添って保育をしてくれ、生活のルールや友達との付き合い方もきちんと教えてくれてありがたい」「園庭が広い点、山遊びができる点、子どもに合わせた対応をしてくれる点がすぐれている」「先生たちの子どもに対する目線がいつも優しく、安心して預けることができ、先生同士の会話も多く、仲がよさそうで、園全体の雰囲気がとてもよく、子どももいきいきと楽しそうに通っている」などの声が寄せられている。さらなる向上を望む意見としては、職員の体制・負担軽減や、保育・行事等のさらなる充実に関することなどが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	56	0	0	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、有効回答者56人全員(100%)が「はい」と答えている。自由意見は16件で、「屋内活動だけでなく、広い大自然の中で山登りや虫とふれ合う機会もあり、先生や友達との関わりの中で、心身ともにのびのびと成長させてもらっていると感じている」「けんかをして、必ずどちらの思いも確認し、傾聴してくれ、自然が多いので体力がつき、生き物に対して興味や思いやりも育まれている」「園児を第一に考えて楽しめる活動を用意してくれている」などの声が寄せられている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	56	0	0	0
有効回答者56人全員(100%)が「はい」と答えている。自由意見は10件で、「図鑑で学んだことを散歩でも活かして観察してきて、さまざまな名前を覚えており、興味・関心が深まっていると思う」「保育園でした遊びを家でもやってみたところ夢中になって遊んでおり、また、無理に集団と同じ行動を取らせようということなく、温かく見守ってくれていることも、話からよくわかる」「散歩などで自然にふれ合う機会も多く、のびのびと活動させてもらえるので、いろいろなことに興味や関心を持ちやすい」などの意見が寄せられている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	52	4	0	0
「はい」が92.9%、「どちらともいえない」が7.1%となっている。自由意見は14件で、「野菜など、苦手な食べ物に対する工夫を感じてとてもありがたく、無理やり食べさせることもなく、子どもが給食を楽しんでいると感じる」「自宅では主食しか食べない時が多く、保育園でのおいしい給食にととても助けられている」「給食ディスプレイを見て「おいしかったー」とよく話しており、人気レシピを教えてくれるのもうれしい」などのほか、メニュー・食材や、苦手な食材がある際の声かけについて、さらなる工夫を望む声が見られる。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	55	1	0	0
<p>「はい」が98.2%、「どちらともいえない」が1.8%となっている。            自由意見は9件で、「広い園庭、隣接した自然豊かな山への散歩により身体が鍛えられており、近隣の保育園や高齢者施設との交流企画もあり、社会性を身につける素晴らしい機会を用意してくれているので、今後も継続してほしい」「夕涼み会は先生方が準備を頑張ってくれて、子どもが楽しめていた」「いろいろな行事があってとても楽しんでおり、地域の祭りにも出店し、子どもも楽しみが増えていく」などのほか、遠足などの行事等のさらなる充実を望む声があった。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	50	4	0	2
<p>「はい」が92.6%、「どちらともいえない」が7.4%となっている。            自由意見は14件で、「迎え時間などが遅くなる際、いつも快く対応してくれ、保護者を労う言葉をかけてくれるなど、とても親切で助かっている」「遅れることを電話で伝えた際、嫌な対応せず最後まで遊んでくれていた」「アプリで迎えの時間を変更すると、保育園より確認メールが来るようになっていて、連絡の負担が少なくて助かる」などのほか、お迎え時の対応や保護者の就労・負担への配慮について、さらなる検討を望む声が見られる。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	48	7	1	0
<p>「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が12.5%、「いいえ」が1.8%となっている。            自由意見は9件で、「入口が自動だが、時間でロックがかかるので、部外者がいきなり入ってこない対策等ができていると思う」「いつも整理整頓されており、園出入口(玄関)に必ず保育者がいるため安心だ」「散歩の最初に先生がヘビやハチがいないか確認するのだと、山に家族で行った時に子どもが教えてくれた」のほか、保育中の安全管理や外部侵入対策について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	53	1	1	1
<p>「はい」が96.4%、「どちらともいえない」が1.8%、「いいえ」が1.8%となっている。            自由意見は5件で、「参加しやすいように事前周知なども行ってきており、時間帯なども考えてくれていると思う」「私は平日仕事なので土曜日の行事は参加しやすい」「とても柔軟にされており、親の気持ちに寄り添った対応をしてくれ、感謝している」「コロナの延長線もあり、運動会や音楽会など時間分けがされているので、混み合うことがないのはよいと思う」などの意見があった。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	49	7	0	0
<p>「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%となっている。            自由意見は11件で、「降園時に子どもの様子を教えてくれ、子どものことで心配なことなどを聞いた際にも丁寧に対応してもらったほか、『心配なことがあったらいつでも相談してください』と気にかけてくれ、とても話しやすい関係にあり、助かっている」「いつでも話を聞いてくれ、支えとなっており、人数が多い中でも細やかに対応してくれて感謝している」などのほか、コミュニケーション機会の確保、送迎時の職員の対応などについて、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	55	1	0	0
<p>「はい」が98.2%、「どちらともいえない」が1.8%となっている。            自由意見は6件で、「毎日先生方が掃除をしてくれている場面を目にしており、汚れていると感じたことがなく、いつも気持ちよく過ごさせてもらっており、人形の置き方なども毎日子どもたちが楽しめるようにいろいろなバリエーションがあり、見て楽しめる工夫もされていて、本当に素敵だと感じている」「夕方になると掃除機をかけていたり、玩具類は消毒されている様子があるので、安心している」「コロナの影響で玩具の消毒まで増える中、毎日ありがたい」などが見られる。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	53	3	0	0
<p>「はい」が94.6%、「どちらともいえない」が5.4%となっている。            自由意見は11件で、「いつも感じよく、はつらつとし、清潔でとても明るく、優しく親切だ」「先生が元気に挨拶等をしたり、動きやすい格好で、適正だと思っている」「担当クラスでない先生も子どもの名前を把握し、いつも笑顔で対応してもらえ、とても気持ちよく、玄関に入るといつも元気な声で挨拶してくれ、自然と笑顔になれる」などのほか、職員の保護者・子どもへの言葉遣いや挨拶、子どもの様子の報告、職員の業務負担について、気になる点が挙げられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	52	1	2	1
<p>「はい」が94.5%、「どちらともいえない」が1.8%、「いいえ」が3.6%となっている。            自由意見は8件で、「電話連絡や子どもの体調観察、見守りや付き添いなど、とても安心できる」「すぐに連絡をくれ、すぐに迎えが難しい時も看病してつき添ってしてくれるので心強い」「体調を崩す前後のことも詳しく教えてくれ、看護師からもアドバイスをもらえるので安心できる」などのほか、ケガや体調変化等の把握・対応、保護者への連絡について、さらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	41	5	0	10
<p>「はい」が89.1%、「どちらともいえない」が10.9%となっており、「はい」の値は前回(2021年度・以下同、78.9%)から改善傾向が見られる。            自由意見は7件で、「きちんと報告をしてくれ、子どもの気持ちを尊重しながら対応もしてくれていると思う」「小さな出来事も報告があるので、様子がわかりやすい」「責めたり非難したりするのではなく、なかなかすぐにできるようにはならないが、友達とのつき合い方を教えてくれてありがたい」などのほか、子ども同士のトラブル等の把握などについて、さらなる検討を望む声が見られる。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	51	4	0	1
<p>「はい」が92.7%、「どちらともいえない」が7.3%となっている。            自由意見には「送り迎えの様子を見ても、子どもの話をきちんと聞いてあげて気持ちのいい方向へ気分転換してくれたり、園内での過ごし方が嫌にならないように配慮してくれていると感じる」「パジャマで登園したい、外遊びをしたくない、などの子どもの意思を尊重しつつ、安全を確保しながら保育をしてきているので、親としても安心して預けられる」「子どもに無理をさせない点がとてもありがたい」など7件があった。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	49	5	0	2
<p>「はい」が90.7%、「どちらともいえない」が9.3%となっている。            自由意見は4件で、「特に知られたくないというのではなく、もしある場合は伝えず、話さなければいけない内容なら伝えるが、第三者に知られても特に問題がない内容のみだ」のほか、「プライバシーを意識する場面がなかったのではわからない」との意見や、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声が見られる。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	51	4	0	1
<p>「はい」が92.7%、「どちらともいえない」が7.3%となっている。            自由意見は5件で、「送迎時に話をする時間がない時でも、連絡帳アプリに丁寧に様子が書いてあり、毎月の園便りにも目標等がわかりやすく書いてある」「園便りなどでも各クラスの保育内容や、目標等もきちんと記載してくれ、連絡帳にも子どもの様子をきちんと記載しているだけでなく、降園時にもその日のエピソードを話してくれることが多く、とてもわかりやすい」などのほか、子どもの成長・発達や保育内容等に関する保護者との共有について、さらなる配慮を望む声があった。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	42	6	1	7
<p>「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が12.2%、「いいえ」が2.0%となっている。            自由意見は7件で、「子どもがケガをして毎日の手当てを依頼した際も快く受けてくれ、患部がただれてきた際などは、丁寧に対応してくれるなど、本当によく対応してもらえて感謝している」「気を遣ってくれており、こちらが恐縮してしまうくらい丁寧だ」「柔軟な対応をしてくれている」などのほか、保護者の不満・要望等への傾聴姿勢や対応について、さらなる検討を望む声が見られる。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	41	5	3	7
<p>「はい」が83.7%、「どちらともいえない」が10.2%、「いいえ」が6.1%となっている。            自由意見は3件で、「入園時の説明でも、きちんと説明してくれた」「家族が以前、教えてもらっていた」のほか、自治体の担当部署の対応に関する意見があった。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>7/7</b>
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
	カテゴリ1の講評	
	園と法人の願いを理念・誓願や保育の目標・方針に定め、保護者や職員に周知させている 地域の子育ての拠点として、集うすべての人々の和と幸福への貢献を目指す園・法人の思いを、理念「和」や誓願「幸せ育む宝箱～笑顔・安心・元気～」に込めるとともに、保育目標に「美しい自然の中で、丈夫なからだをつくる」「豊かでやさしいところを育てる」、保育の方針に「安心して過ごせるように」「のびのびとおおらかに」「共に喜び合えるように」を掲げている。これらについて、保護者には見学・入園時の説明のほか、年度当初の園便りへの記載や懇談会での保育の紹介などを通じて継続的な周知を図り、職員には入職時に理解と実践を求めている。 組織全体で理念・誓願等を共有しつつ、子どもや保護者を支えてゆくことを目指している 各職員には「チャレンジシート」による毎年度の目標設定や毎月の振り返りの仕組みが設けられており、この中でも上述の理念・誓願などの園・法人が目指すものについて、再確認や実務のエピソードと関連づけた体験的な理解が促されている。また毎年度更新・確認される「業務確認表」に、各職位・職種の職責が示されており、経営層がこれを踏まえて園運営の統括にあたっている。各職員が何事も子どもを中心に考え、一人ひとりの育ちやそれを支える保護者の伴走者として、積極的に創意工夫に取り組める組織づくりを、マネジメントの方針としている。 園運営全般の意思決定と、必要な情報を職員や保護者に周知させる仕組みを整えている 園運営全般に係る各種検討・決定は、経営層・リーダー層と各専門職によるリーダー会議や、常勤者と出席可能な非常勤者が話し合う職員会議で主になされており、保育や子どもに関するより実務的な話し合いの場として、乳児・幼児の各会議も設けられている。各会議の内容は、議事録などを通じて不参加の職員に周知させ、保護者にはアプリでの配信を基本に、必要に応じた書面の掲示・配付も併用して、各種の重要事項を伝えている。現場の関連な風土を活かしつつ、経営層と職員がより密に意思疎通を図ることで、組織の活力をさらに高めたいと考えている。	

カテゴリ-2		
2	事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行	
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>10年先の園の姿を見すえながら、中期と年度の各視点で課題・取組を明確にしている</p> <p>平成30年度から10年の長期計画に、園のあるべき姿とのための財政面及び施設整備の方針・予定を定めるとともに、毎年度更新する当年度から3か年の中期計画に、園の保育観の確立や利用者満足度の向上、人材育成制度の精度向上と時間外労働ゼロ化、地域福祉への貢献の拡充を重点課題として、取組の方針や目指す状態を記述している。また各課題について、3か年の進捗の目安や前年度末時点での達成状況を一覧化するとともに、今年度の取組と各担当者を実施計画に定めている。これらを年度の事業計画としてまとめ、年度開始時に職員に説明している。</p> <p>各計画の参考となる保護者や職員の意向を、さまざまな方法によって把握している</p> <p>各重点課題の年度の実施計画は、取組内容を月または複数月単位で定め、進捗を測りつつ進めている。また保育・行事や防災など、日常の運営において行う実務については、別に年間計画と各期間の具体的な取組計画を作成し、目標・ねらいの設定や必要に応じた進捗確認のもとで実行している。これらの各計画には、日常の会話・面談やアプリ連絡帳、行事後の感想収集などを通じて伝えられる保護者の意向や、前述の各会議・個別の面談等で把握する職員の声も反映され、第三者評価受審時の利用者調査・職員自己評価も、意向の把握の重要な機会となっている。</p> <p>現場の声や地域・行政の情報、園の経営状況など、運営に活かすべき情報を収集している</p> <p>上記のほか、現場の主体的な改善活動を目的とした各「質の向上」チームでも、職員の話し合いと課題抽出を行っており、主な行事後には職員向けのアンケートも設けている。また見学や地域支援イベントで来園する未就園世帯の声、参画する地域内の複数の関係者会議を通じ、子育てや教育・保育に関する地域の状況やニーズを把握するほか、これらの会議や自治体・関係団体の発信物などから、関連する行政の政策・制度の動向などを把握している。園の予算の作成・執行などの経営状況の管理は、経営層が業務委託先の会計事務所の支援のもとで行っている。</p>		

3			カテゴリ-3	
経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>2/2</b>	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/4</b>	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている			<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
<b>評価項目1</b> 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる <p style="text-align: right;">評点(〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>カテゴリ-3の講評</b>		
<b>職員が高い倫理観を持って仕事に取り組めるよう、さまざまな啓発の機会を設けている</b> 職員には入職に際し、就業規則などをもとに、社会人としての各種心得や子どもの人権への配慮、守秘義務など、守るべき規範・倫理に関する啓発がなされている。また「チャレンジシート」による年4回の内省を行い、子どもへの関わり方や、保育者及び組織の一員としての姿勢などについて、自身を振り返っている。毎年度開始前には接遇・身だしなみや虐待・ハラスメントの禁止、理念・誓願に基づいた行動、子どもの人権・尊厳や家庭の育児方針などの尊重、不断の自己研鑽と専門性の発揮などに関する自己評価と、園長との面談による確認を行っている。		
<b>不適切な保育や家庭での虐待等の防止に努め、保護者の意向への対応にも取り組んでいる</b> 不適切な保育の排除について、4月の会議では園長が研修での学びをもとに職員に自戒を促すほか、職員が話し合う機会を設けている。また国の示すチェックリストをもとに各人が自身を振り返ったうえで、子どもへの関わりにおける「適切」「不適切」を話し合うなど、組織の認識を揃えて保育にあたるべく努め、人権に関する園内研修も毎年度設けている。家庭での虐待等の疑いには、行政機関と協力して支援にあたっており、苦情解決制度や複数設置する意見箱、日々の交流などを通じた保護者の意向の把握と、寄せられた声への対応にも取り組んでいる。		
<b>子育てと福祉を支える社会資源として、積極的な地域貢献や関係者との連携に努めている</b> ホームページや今年度開始のInstagram、町の広報などを通じて園の各種情報を発信するほか、保育実習生や中高生の職場体験・インターンシップの受け入れもしている。また地域への子育て支援として、体操や音楽遊び・制作体験、近接する里山での自然体験、季節の行事や毎月の誕生会、給食体験などの親子で楽しむ保育所体験のほか、インファントマッサージや子育て家庭同士の語らいの場の提供など、多様かつ意欲的な取組を行っている。町及び西多摩地域の私立保育所園長会をはじめ、保育・福祉関係者が集うネットワーク会議にも複数参画している。		

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>5/5</b>
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
<p>園の保育の特質を踏まえ、日常の事故の防止のための取組をさまざまに行っている</p> <p>周辺の豊かな自然を活かした保育を活発に行う中で、ケガや虫刺され等の防止、園との常時の連携のための通信の確保など、園外活動中の各種リスクへの対策に注力している。子どものケガ等の事故は、直後の終礼や会議での周知による現場への注意喚起のほか、担当者や経営層による原因・対策の考察を行っており、今年度は各室への検証用の記録カメラ設置もなされている。また重要な事例は緊急会議を設けて検証し、保育中の危険予測や安全管理の徹底を組織全体に周知させている。ヒヤリハットも同様に共有と検証を行い、把握の活性化を課題としている。</p> <p>災害・不審者や保健面の各種リスクへの対策、経営面のリスクへの対応にも努めている</p> <p>毎月の避難訓練実施により、災害時の対応や保護者との子どもの引き渡し時の連携を確認しており、毎回の訓練の計画は乳児・幼児別に立案し、発達に応じた訓練のねらいを明確にしており、BCPも作成している。不審者対策訓練も侵入と戸外での遭遇をそれぞれ想定して実施し、敷地内の要所の防犯カメラによる常時監視も行っている。また遊具・設備の安全点検や消防署による救急救命講習、感染症予防や嘔吐処理手順に関する園内研修も行われている。定員の減員や広報活動の強化など、地域内で進む少子化による利用ニーズ縮小への対応にも努めている。</p> <p>情報の適正な取り扱いと漏洩防止を徹底すべく、環境整備や関係者への啓発を行っている</p> <p>個人情報保護規程や「保育マニュアル」、新人向けのOJT用資料に、各種情報の取り扱いに関する諸規定や実務上の遵守・禁止事項を定め、職員には入職時に関連の啓発を行い、実習生等には活動開始前に守秘義務の厳守を求めている。また重要書類の施錠管理や端末・ソフトウェア類の各種セキュリティ設定など、設備面の漏洩防止対策もなされている。保育マニュアルについては昨今の情報管理のあり方の変容を踏まえ、書類以外の情報についても取り扱い方を定めることを期待したい。保護者には入園時に個人情報の利用目的や開示請求対応等を説明している。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
		12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	
	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	
	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	
	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	
	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	
	<input type="radio"/> 非該当	

サブカテゴリ-2(5-2)		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	3/3
組織力の向上に取り組んでいる			
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に 活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評			
<p>必要な人材構成の実現に努め、職員の育成・成長の目安を「職位表」に定めている</p> <p>人材の採用は実習からの継続採用を中心に、状況に応じ園ホームページや必要に応じた採用関連業者・機関を通じた求人も実施している。配置は各クラスの保育の安定継続を念頭に、担任間・クラス間の連携とチーム力の発揮を考慮したうえで、各人の意向と経験・適性、期待される成長・役割などを加味して決定している。また職員の成長・キャリア形成の指標として、「職位表」に新人から管理職までの能力や経験年数・研鑽などの段階的な目安が示されており、サーバ内でのデータ共有や「OJTブック」により、職員や入職者に示されている。</p> <p>「チャレンジシート」による個別の目標管理などにより、各職員の成長を支援している</p> <p>「チャレンジシート」による個別の目標管理を行い、各人が理念・誓願や保育目標・方針、中・長期計画等を踏まえ、年度の役割・仕事や3年後の成長像を明確にしたうえで、当年度の取組や研修受講の予定を定めている。これらの実践の状況は、経営層と各人の面談を通じて半期ごとに行い、その過程で育成や処遇などに関する意向も把握されている。また同名の振り返り表により、四半期ごとに設定する項目で各人が保育者や組織の一員としての姿勢・行動等を自己評価する仕組みも設けられている。自治体や各種団体等が行う研修の受講も順次なされている。</p> <p>多様に設ける組織内の学びと話し合いが、保育の充実や現場の活力向上に活かされている</p> <p>園外の研修で各職員が得た保育や子どもの発達、安全・保健・食事などの学びは、園内研修として設ける報告会で組織内に伝えられる。園内研修では不適切な保育の排除、子どもの発達支援や性教育、保護者支援、各種マナーなど、現場が必要とする実践的な研鑽にも取り組み、毎回話し合いの場を設けて職員間の相互理解や同僚性の促進にもつなげている。また「質の向上」各チームが取り組む職員主体の改善活動では、業務の合理化・効率化や職員同士の感謝・称賛の伝え合いによる組織の活力向上、保護者の意向の把握と改善への反映などに取り組んでいる。</p>			

7		事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリ1(7-1)		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
評価項目1		
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)		
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)		
園としての保育観の確立を近年の継続的な重点課題としており、昨年度の事業計画では、年度終了時の目標を「2018年に明らかにした保育方針の理解を深めるために、保育環境改善と保育方針に基づく保育実践を継続して行う」とした。そのための取組として、各年齢で取り組んでいる保育の援助・活動や環境の工夫を毎月の園内研修で共有し、話し合いを通じてそれぞれの質を高めるための検討を行った。		
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった	
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評		
<p>4月に上記の方向性を確認したうえで、0歳児から5歳児までの各年齢について、毎月担任からの発表をもとに話し合いを行い、各クラスの日常の保育や環境構成、連絡帳の書き方や行事のあり方、5歳児の就学支援など、保育に関する実務的な研鑽のほか、災害時の炊き出しなどについても学びの機会が持たれた。</p> <p>一連の取組は、継続して掘り下げてきた園の保育のあり方について、いったん立ち止まり、成果や今後への課題をまとめ、共有する機会として位置づけており、年度末の事業計画の評価においては、取組には一定の成果が得られたとされている。また園の保育の特色や大切にしてきたものを改めて明確にしたことは、ホームページやパンフレットの刷新など、対外的な広報への反映にも活かされている。</p> <p>今年度は昨年度の成果や現場の声を踏まえ、園内研修では外部の専門的な知見も採り入れることを目的に、オンライン研修を継続的に受講しており、全職員がそれを視聴したうえで話し合う形態を毎回設けており、発達支援・保護者支援や各種マナー、子どもへの性教育などについて、研鑽とその後のグループ討議を通じて学びと職員間の共通理解を深めている。</p>		

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

上記「評価項目1」の保育観の確立のほか、「時間外労働の撲滅」も継続して重点課題としており、昨年度も職員による「質の向上」チームAを中心に取り組を行った。  
 短時間勤務の配置を工夫するほか、一部の非常勤職員の勤務時間を延ばし、夕方まで現場の支援にあたってもらうことで、常勤の保育者が現場を離れ、交代で事務業務その他を行う、いわゆるノンコンタクトタイムの確保につなげた。また運動会などの主要な行事のあり方を見直し、装飾などの作製物は削減や過年度のものの再利用によって職員の負担を減らすとともに、企画内容も再考し、子どもたちの成長や日頃の成果を保護者と共有しつつ、各行事本来の目標・ねらいにより合ったものとなるようにした。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

行事の見直しはコロナ禍以降の種々の制約もきっかけの一つとなり、実施の見合わせや規模の縮小から得られた気づきも活かしながら、各行事の本質を改めて組織内で共有する機会となっている。また同様に日常の食事提供においても、コロナ禍発生後は感染防止の観点で職員が子どもと一緒に食事をするのではなく、別室で摂ることとしており、結果として休憩時間の確保にもつながっている。取組は上述の事務業務時間等の確保と併せ、成果にも結びつき、今般の職員自己評価でも、残業の解消や休憩・休暇の確保などについて、現場から肯定的な意見がさまざまに寄せられている。  
 今年度も同様に現場の負担軽減を重点課題としており、今年度から3か年の「中期計画」では、「令和5年度末には時間外労働「0」を達成する」を目標に掲げ、保育方針に照らして実践における要不要の仕分けを継続して行うとともに、ICTの活用促進も図り、業務の効率化・合理化を進めることとしている。現場の自発的なクラス間の相互支援や、子どもの少ない土曜日を有効に活用した各種事務の消化など、取組を推進しながら、各職員が保育を通じて達成感を得て、意欲を高めることも重視し、負担軽減との両立を図りたいと考えている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学希望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
	サブカテゴリ-1の講評		
	<p>各種媒体を活用して、園の特色等が伝わるよう工夫している</p> <p>園のホームページやパンフレットには、保育理念「和」や誓願「幸せを育む宝箱」のほか、園周辺の自然とのふれ合いや食事、子どもの様子、地域への支援など、さまざまな内容を写真を添えて掲載し、園の特色や保育の目標、大切にしている保育への思いなどが伝わるようにしている。また、複数のSNSを活用し、子どもの様子などを発信して園の様子をイメージできるようにするほか、園や園が参加する地域のイベントの情報も発信している。地域のイベントでは、園の紹介と地域支援の年間の取組を掲載したパンフレットを配布している。</p> <p>町役場や近隣の商店への掲示、イベント参加などを通じて園の情報を発信している</p> <p>園が所在する日の出町の公式サイトには、町内にある各保育施設に関する運営主体、連絡先や所在地、保育時間などの一覧ページのほか、各保育施設の基本情報や位置を示した簡単な案内図も掲載されている。園庭開放や地域支援の取組は、町が発行する広報紙に予定が掲載されるほか、園のイベントへの参加を呼びかけるポスターを、町役場や近隣の図書館等に掲示してもらっている。また町役場には、上記の園のパンフレットに加え、園の給食のレシピ集を設置し、自由に手に取れるようにしている。</p> <p>見学対応のほか、地域支援への参加をよびかけ、より園を知ってもらえるようにしている</p> <p>見学は電話またはホームページ経由で予約を受け付け、散歩や給食などの時間帯で行えるよう日程を調整しており、申込者の都合に応じて土曜日での実施にも対応している。見学当日は、個別対応で園内を案内し、各クラスの活動の様子を見てもらいながら、年齢ごとの発達の見通しが持てるよう説明するほか、裏山の活動等の園の特色を伝えている。また地域の未就園世帯向けの活動に参加してもらい、より園を知ってもらえるよう、地域支援の案内チラシを園のパンフレットとともに手渡し、活動への参加を誘いかけている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		○非該当
<b>サブカテゴリー2の講評</b>			
<p><b>利用開始にあたっての説明と各種の同意の確認を行っている</b></p> <p>入園前には、個別の面談を実施し、利用開始にあたっての重要事項等の説明を行っている。入園予定の世帯に配付する「宝光保育園のしおり」等をもとに、保育の理念や誓願、保育目標、保育内容、施設概要のほか、登園や保健、給食等に関する各種の約束事などを説明している。持ち物等の準備物の説明では、わかりやすいようサンプルを用意して行っている。その場での質疑応答や、後日の問い合わせに対応し、個別の不安や不明点を解消できるよう丁寧な対応を心がけ、面談終了時には、面談用紙への署名により、重要事項等への同意を確認している。</p> <p><b>把握した子どもや家庭の状況等を職員間で共有し、利用開始後の支援に役立っている</b></p> <p>入園前の面談で子どもや保護者の状況等を聴き取り、把握した情報は組織内で共有し、共通認識のもとで入園後の支援にあたるようにしている。保護者から提出される、「発達状況表」や児童票等の書類を確認しながら、「面談用紙」をもとに保育時間や園への要望等の保護者の保育に対する意向のほか、子どもの発達状況や健康面、食事や睡眠等の生活状況などを確認している。面談終了時に各種の同意確認として保護者が署名する「面談用紙」は、写しを各世帯に手渡している。</p> <p><b>入園直後の親子の不安や負担に配慮し、卒園後の関係継続に努めている</b></p> <p>入園直後には、新しい環境で過ごす子どもの不安や負担に配慮するため、保育時間を少しずつ延ばしてゆく「慣らし保育」を行っている。1週間を目安に保護者の就労事情等に応じて期間を設定し、子どもの様子に応じて再調整するようにしている。また保護者の不安も軽減できるよう、写真も見せたりしながら当日の様子の報告を丁寧に行うよう心がけ、希望があれば、給食時に保護者が同席できるようにしている。利用終了後には「夕涼み会」への卒園児の参加を誘いかけるほか、小学1年生の卒園児を対象とした同窓会を行うなど、関係の継続に努めている。</p>			

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13/13
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p><b>一人ひとりの成長・発達の状況を把握し、定期的に経過の確認・記録を行っている</b></p> <p>一人ひとりの家庭の状況や発育・健康面などについては、入園時及び入園後継続的に把握・記録しており、入園時に取得した各種書類は個別のファイルに保管している。子どもの発達の経過は、年齢に応じた周期で定期的に記録をしており、年齢別の主な発達の現れに関するリストを用いて時期を確認するとともに、子どもの全体的な姿として、健康・生活・食事・遊び・情緒等の視点をもとに保育者の所見を記録している。身体測定を毎月行い、アプリに記録するほか、内科・歯科等の検診結果は「健康カード」に記録し、保護者に知らせている。</p> <p><b>全体的な計画をもとに各期間の保育計画を作成し、実践につなげている</b></p> <p>全体的な計画をもとに、年間を4期に分けた指導計画を策定し、短期的な月・週の計画に展開して実践につなげており、周期ごとに振り返りを行い、次の計画に活かしている。集団としての年齢別の計画だけでなく、心身の成長・発達やその個人差が著しい2歳児クラスまでの子どもと、特別な配慮を必要とする子どもに対しては、個人別の指導計画を作成して、個々の発達や特性に応じた援助ができるようになっている。年度初めのクラス懇談会では、年間を見通した保育内容を説明するほか、園便りに各クラスの保育目標と子どもの姿の様子を掲載している。</p> <p><b>各種会議や年度末の引き継ぎなど、子どもに関する情報を職員間で共有している</b></p> <p>計画の内容や子どもの個別の発達の状況等は、クラス内での打ち合わせや乳児・幼児会議で共有し、各クラスでの引き継ぎの際には、口頭やメモを用いて情報を伝達している。事務室のボードや職員の目につく場所に計画や情報を掲示することで、各クラスの計画や子どもの状態を、各職員が把握して保育にあたることができるようになっている。年度末には、児童票をもとに次年度の担任へ引き継ぎを行い、一人ひとりの状況を把握できるようにしている。家庭の状況に関しては、日々の保護者との対話や連絡帳に記載された内容を通じて把握している。</p>		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どものプライバシーや羞恥心への配慮、個人情報の適切な取り扱いに努めている</p> <p>個人情報の利用目的や、同意のない外部への提供の制限、園内の掲示物や対外的な各種広報媒体・メディアの取材等における氏名及び肖像権の利用については、入園時に保護者に対して、書面による同意の確認を行っている。子どもの羞恥心への配慮として、5歳児を対象にプライベートゾーンについての話をする機会を設け、気づきを促している。夏季の水遊び時には男女別で着替えることとし、外部からの視線が遮られる場所で水遊びができるようにしている。乳児のおむつ交換や着替えも、人目を遮るようにカーテンを引くなどの配慮をしている。</p> <p>不適切な保育の排除に向けて取り組み、職員の意識を高めている</p> <p>「保育マニュアル」に、子どもに対するNG行動や言動、できないことへの非難や呼び捨ての禁止など、職員による虐待の防止に関する内容を示している。今年度4月の園内研修では、各職員が考えるNG事例や望ましい対応を話し合い、その記録の供覧により学びを共有し、不適切保育の防止への意識を高めている。また、保育士団体作成のチェックシートを用い、各職員が子どもへの関わりや言動を振り返り、自戒につなげるほか、年度末には自己点検表による園長との個別の振り返りも行うなどして、人権を尊重した保育の徹底を現場に促している。</p> <p>虐待防止のマニュアルを整備し、情報共有や研鑽を通じて理解が深まるようにしている</p> <p>町が作成した虐待防止のマニュアルを常備し、これに沿って、子どもの受け入れ時や着替えなどの際の視診などにより虐待の早期発見に努め、事例が疑われる場合は関係機関に通告し、連携を図る仕組みとなっている。また町内の要保護児童会議に主任が参加しており、今年度の会議で共有された情報から、虐待を察知する精度を高める必要性を再認識し、職員に手順の徹底を促している。虐待防止に関する研修を職員が受講した際は、報告書の供覧により知見を共有し、組織全体で虐待防止等についての理解が深まるようにしている。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5 / 5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p><b>運営や保育、安全等に関するマニュアルを整備し、随時参照できるようにしている</b></p> <p>朝番・遅番の業務、延長保育や土曜保育、登降園時の対応、園見学などの運営・保育の一般的な内容をまとめた「保育マニュアル」や、救急やSIDS、虐待防止などの保健面・安全面に関する手順を定めた「保育安全ファイル」を整備し、事務室や各クラスに備え置き、職員が随時参照できるようにしている。マニュアル類の見直しは、行政のガイドライン等の改定のほか、職員が参画する「質の向上」チームが主体となり、職員の意見等を踏まえながら適宜見直しする仕組みとなっている。</p> <p><b>園内研修や実践訓練、自己点検を通じて、定められた手順の徹底を促している</b></p> <p>保育の業務全般に関する手順を定めた「保育マニュアル」は、毎月行う職員会議時に設ける園内研修において、読み合わせによる手順の確認や、動画の視聴によって理解を深める機会を設けている。また、年度末に正規職員が消防署によるAEDや心肺蘇生法の訓練を受講するほか、上記の質の向上チームが中心となり、嘔吐処理の手順の確認などを行っており、アナフィラキシーショック時の対応方法等は、在籍する子どもの状況に応じて行っている。また不適切保育の排除に向け、各職員が自己点検するなどして、定められた手順等の徹底を促している。</p> <p><b>保護者の声や職員の意見をもとに、さまざまな見直しを行っている</b></p> <p>保護者の意見や要望は、直接口頭で伝えられるもののほか、保護者が参加する行事後に行うウェブアンケートなどを通じた把握にも努め、次年度の行事の見直し等の参考としている。保育の環境構成に関する研修での学びを活かし、子どもの年齢や発達、興味・関心に応じて玩具の入れ替えやコーナーの設定の変更等を行うほか、給食職員の得意を活かして柵を手作りしている。また上述の「質の向上」等のチームでは、職員が改善の提案を行っており、挙げられた提案をもとに、昨年度末から新たなSNSを活用した情報発信に取り組んでいる。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36 / 36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>一人ひとりの様子や特性に応じて、最適な支援や配慮につながるよう努めている</p> <p>一人ひとりの全体的な姿は児童票にまとめ、日々の様子を日誌・個人記録に残して職員間で共有している。子どもの興味・関心や発達などの状況は、園での生活や遊びの様子を職員間で伝え合うほか、保護者への聴き取りなどによって把握している。個別の配慮が必要な子どもについては、現在の様子から今後の成長を見通しつつ、クラス内で必要な支援を検討しており、家庭や園での様子を保護者と共有し、専門機関の助言も適宜仰ぐとともに、支援の内容や子どもの状況を職員会議で伝達し、すべての職員が同じ方針のもとで関わられるように努めている。</p> <p>子どもたちが主体的に遊びに取り組める環境と、異年齢で過ごす機会を設けている</p> <p>乳児室の棚には玩具名と玩具の写真を掲示して、その時々遊びたい玩具を子どもが選択できるようにしている。訪問時にも開放的なテラスで豆自動車に乗り込んだり、保育者とスキンシップを図りながら自由に過ごしたりする姿が見られるなど、子どもが主体的に遊びを選択できる空間・時間に配慮している。園庭遊びや散歩時には異年齢で過ごしたり、手をつないで出かける機会を多様に設けており、年上児が遊びや歩行の介助をしたり、年上児の姿をまねて年下児が遊び方や交通ルールを身につけたりするなど、相互の育ち合いを促している。</p> <p>子ども同士のトラブルへの発達に伴う援助と、就学への期待感を高める取組に努めている</p> <p>生活や遊びの場面で起こる乳児間のトラブルでは、言葉で表現できずにかみついたり引っかいたり、行動に出てしまう前に防ぐことができるように配慮しており、ケガが発生した場合には、経緯を保護者に伝え謝罪をしている。幼児間のトラブルでは、子ども同士で解決できるように助言をしたり、双方の思いを受けとめたりしながら、子ども同士で気持ちの折り合いがつけられるように援助している。就学に向けた取組として、町内の年長児が集まる交流会や学校体験に参加し、他園の子ども同士が顔見知りになれるように親睦を深め、就学への期待を高めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>登降園時には、家庭や園での子どもの様子や体調等を伝え合っている</p> <p>登園前には、保護者からアプリ内に子どもの体調・機嫌・様子等が入力され、登園時にはそれらの確認とともに、口頭で「お変わりありませんか」と声をかけて変化を聴き取るようにしている。聴き取った内容で周知すべき事項については引き継ぎ用のノートに記載をし、職員間での共有に努めている。一日の活動内容は、乳児は個別に配信し、全園児の様子はクラス単位で配信するとともに、「クラスフォト」として同じ内容を掲示している。散歩先の広場や公園、寺の境内等を示した散歩マップを園内に掲示し、子どもたちがよく出かけている場所も知らせている。</p> <p>個々の発達状況や意欲に合わせて、身辺自立への取組を進めている</p> <p>基本的な生活習慣の習得に向けた援助は、保護者の意向や子どもの発達状況に応じて個別に行い、生活リズムを整えながら子どもが無理なく身につけることができるよう支援している。手洗いは保育士と一緒に洗いながら、清潔になる心地よさを知るところから始め、徐々に自分でもできるよう援助し、言葉の理解が進んできた頃には、手洗いの大切さや理由などについても伝えるようにしている。トイレトレーニングについては個々の子どもの意欲や身体的な発達状況を把握して、散歩や主活動の妨げにならないように配慮しつつ、個別に取り組みようとしている。</p> <p>年齢や生活リズムに応じた休息時間を設け、安全に眠れる環境を整えている</p> <p>日常生活の中で子どもたちのやりたいという意欲を尊重しながら、自分でできたという体験を重ねられるように個々に配慮・援助をしている。幼児は当番活動を採り入れており、年齢に応じた内容を設定して、子どもが自ら取り組めるような促しや環境への工夫をしている。また食後の午睡時間は、年齢や個々の生活リズムに応じて設けており、5歳児は1月頃より午睡をなくして、その時々子どもたちの様子に応じた活動を行っている。睡眠時にはSIDSへの対策を講じており、定期的に子どもの顔色や体勢を確認し、状況を記録に残すこととしている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3の講評		
<p><b>子どもたちが自発的に遊びを選択し、個々や集団で遊びに取り組みるようにしている</b></p> <p>幼児の保育室には、テーブルごとに遊びのコーナーを設置し、自由遊びの時間は知育玩具・ごっこ遊び・絵本などを自由に選択して遊び込めるようにしている。自然豊かな立地を活かし、散歩先で収集した自然素材を制作に活かしたり、廃材で創意工夫を凝らした作品作りなどにも取り組んでいる。言葉に対する感覚を養うために、日常のごっこ遊びや劇ごっこ・絵本の読み聴かせなどを通して言葉を引き出すようにしている。また、集団での遊びやゲームなどを意識して採り入れ、遊び方・ルールも子どもたちが話し合いながら決められるような援助を心がけている。</p> <p><b>安心していきいきと自己表現ができるよう、担当制や多様な活動を採り入れている</b></p> <p>乳児は緩やかな担当制を採り入れ、概ね特定の保育者が一人ひとりの発達や特性を把握した支援を行い、応答的なふれ合いや言葉かけから子どもの欲求を満たすことで、安心して自分の気持ちを表現できるようにしている。また季節の歌や手遊びなど、日常的に子どもとふれ合い、いきいきと自己表現ができるよう促し、幼児も朝の会で、子どもに当日の活動内容の意見を聞いたり、誕生会でインタビューの時間を設けている。各クラスでは時には音や音楽に合わせてダンスをして楽しんだり、運動遊びではマットや跳び箱などの教具を使った活動をしている。</p> <p><b>四季折々の自然物に囲まれ、ダイナミックな遊びや探究心が培われる体験をしている</b></p> <p>四季折々の風景の中で、山や自然遊びの楽しさ、気持ちよさを感じるとともに、自然現象を遊びに採り入れ、起伏のある道の登り降りや日々経験することで、体幹が鍛えられ、健康的な身体づくりの一助ともなっている。自然の中で過ごすことで、植物や昆虫等の生態を仲間とともに学び合う姿も見られ、探究心の芽生えにつながっている。散歩に出かける前には、山遊びのルールや危険な場所・植物などを子どもたちに伝え、写真を用いて生態を知らせるなどの工夫をしており、自然の中でダイナミックな遊びをしながらも安全に過ごせるように配慮している。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p><b>季節ごとのさまざまな行事を楽しみ、由来や文化に親しんでいる</b></p> <p>子どもたちが楽しみながら、日本の伝統文化を知ることができる行事を採り入れている。七夕・正月・節分・ひな祭りといった日本の文化的な行事、ハロウィンやクリスマスなどの他国由来のものなど、さまざまな体験ができる機会を設けている。子どもの日・七夕・お月見・節分などの行事を通じて季節を感じ、制作や歌を通して行事に親しみが持てるようにしている。節分は変装をした鬼が登場し、子どもたちが協力をして鬼退治をするという一連の流れを、怖がりながらも楽しみ、鬼退治をした達成感を子どもなりに感じている様子が見られている。</p> <p><b>集団で取り組む行事を通じて、協力する楽しさや達成感を味わえるよう工夫している</b></p> <p>運動会ではかけっこや玉入れ・遊戯などの種目のほかに、日頃の保育内容と行事を関連づけ、5歳児が楽器を演奏しながら鼓笛行進の披露をしている。鼓笛行進という一つの目標に向けて練習を積み重ねる姿を通じ、次年度に向けて、年下児は憧れを持って意欲を高める子どもたちの姿が見られている。発表会は、幼児は劇や合奏・ダンス、乳児は歌遊びを中心に日頃の姿を保護者に見てもらえる内容としている。劇遊びでは台詞を皆で考えたり、一つのものを作り上げてゆく過程を通じて、協調性や達成感などさまざまな心の成長を育めるよう取り組んでいる。</p> <p><b>地域・親子でともに楽しめるような行事を企画している</b></p> <p>「自由保育参加」「親子映画会」「夕涼み会」「親子山歩き」等、保護者や地域の人々とともに親子で楽しめる行事を企画している。今年度の夕涼み会は「復活祭」として3年ぶりに開催し、大道芸人や地域の人々と職員のパフォーマンスとともに歌い踊り、ゲームコーナーを楽しみ、最後は打ち上げ花火も楽しんでいる。園と地域が一体となるイベントの開催は、地域に愛され必要とされる園としてあり続けていきたいとの願いを伝える取組もなっている。保護者が参加できる行事については、アンケートや日々の連絡帳等で保護者の感想を聴き取っている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>一日を通して個々の子どもの健康面・情緒面に配慮し、職員間でも情報を共有している</p> <p>保育時間の長い子どもが無理なく一日を過ごせるように、昼食後は午睡時間を設けて身体を休み、午後のおやつ後は天候や子どもの体調に応じ、室内外で好きな遊びを自由に楽しめるようにしている。一人ひとりの生活リズムや健康状態を把握し、職員間での情報共有に努めており、寂しくなってしまうなど不安が感じられる場合には、スキンシップを多めに取るようにするほか、気分転換に園舎内を歩いたり、他クラスに出かけるなどして過ごしている。また身体を横にするなど、ゆっくりすることができるようなスペースを確保している。</p> <p>合同保育を行う時間帯の安全への配慮と、保護者への情報伝達の仕組みを整えている</p> <p>朝・夕は合同保育となり、各年齢児が共通して楽しめるものを用意し、年齢の幅に合わせた玩具や教材等で安全に集中して遊び込める環境を整えている。幼児は月ごとに合同保育の部屋を変更し、玩具や環境に変化をつけて、楽しく過ごせるようにしている。18時以降は乳幼児がともに過ごし、18時半以降には軽食も提供している。乳幼児の合同時間帯は特に安全に過ごせるよう、衝突や玩具の誤飲などの危険に注意しており、延長保育時間帯での保護者への伝達事項は、引き継ぎ用のノートに記載されている内容を確認して、伝達漏れのないように努めている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが楽しく食事ができるよう、環境の整備や献立などに配慮している</p> <p>毎日の食事の時間には、子どもの体格に合わせた高さの机や椅子を用意して、安定した姿勢で食事を摂れるようにしている。旬の食材を使い、栄養バランスや嗜好を考慮した、安全でおいしい食事の提供に努めるほか、子どもの食事量を把握して盛りつける量を調節し、完全やおかわりすることで満足感が得られるよう配慮している。0歳児の食事提供は1対1から始めており、担当制のもとで一人ひとりの状況や食への関心などを把握し、それに合わせた細やかで丁寧な援助を心がけながら、子ども自身ができることを増やし、食への意欲が高まるようにしている。</p> <p>アレルギーのある子どもの食事や離乳食の提供に向けた仕組みを整えている</p> <p>アレルギーのある子どもについては、医師が記入する「生活管理表」にもとづき、面談で詳細を把握している。また、翌月の除去内容が示した献立表を保護者に配付し、確認を求めている。提供時には別トレーや色つきの食器を用い、見目で判別できるようにしており、複数の職員での口頭確認を経て提供する仕組みとしている。離乳食を進める際には栄養士が面談を行い、食材管理表をもとに、家庭での食事の状況や試した食材、発達段階などを確認し、保護者と相談のうえで次の段階に進めるようにしており、食材管理表は0・1歳児用をそれぞれ用意している。</p> <p>食への興味・関心を持ち、食の楽しさを味わえるような取組を採り入れている</p> <p>食育計画には、食育に関する園のねらいを掲げており、子どもが食に対する興味や関心を持ち、食べること・作ることの楽しさを知ってもらいたいとの思いを記している。栽培活動では旬の野菜を育て、子どもたちは水やりなどの世話を通じて食べ物の生長に触れながら、収穫や観察を楽しみ、収穫した野菜は調理にも活かしている。味覚を育む料理や、見た目でも楽しめる行事食の提供、バイキング形式の「お楽しみ給食」、幼児は三角食べや箸の使い方、食事の姿勢などのマナーについても伝えるなど、子どもの食の知識や意欲を育む活動を多様に行っている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p><b>安全や衛生への子どもたちの意識が高まるよう、さまざまに取り組んでいる</b></p> <p>散歩前やその道中では、職員が安全に対する注意を喚起し、散歩先では、危険な場所や動物、昆虫に対する注意をしている。警察による交通安全指導を年2回行い、年度末には年長児が園外で実践訓練を体験し、交通マナーを学んでいる。地元の消防団と連携した取組では、安全な避難に関する講話を聴いている。生活の切り替えの場面では、職員が寄り添い、声をかけながら子どもたちに手洗いを促し、指導している。幼児を対象とした「生命の安全教育」では、命の大切さや手洗い・咳エチケットなどを伝えるなど、健康等に対する啓発を行っている。</p> <p><b>嘱託医や関係機関とも連携しながら、子どもの健康の維持・管理にあたっている</b></p> <p>上記の「生命の安全教育」の取組に加え、保健センターの保健師による歯磨き指導が年長児に対して行われ、虫歯予防の大切さを学んでいる。月1回身体測定を行うほか、嘱託医による各種健診により、子どもの発達状態や健康状態を定期的に確認している。また登園時には職員が健康観察を行うとともに、保護者への口頭での確認や連絡帳の記載の確認により、日々の子どもの健康状態の把握に努めている。看護師は毎日各クラスを巡回し、子どもの様子を確認するほか、子どもの急な体調変化やケガの対応にあたるなどして、健康の維持・管理に努めている。</p> <p><b>子どもの健康をともに支えられよう、保健に関する説明や情報提供を行っている</b></p> <p>入園時には、「宝光保育園のしおり」をもとに、与薬や子どもの体調等に応じた登園基準、感染症に罹患した際の対応、SIDS対策など、保健面の約束事や園の取組を保護者に説明している。毎月発行する保健便りでは、年度当初に保健面の約束ごとを掲載するほか、時期に応じた健康維持に関する話題を提供している。4月の懇談会では、配付書類で近隣の病児・病後児保育の実施施設を紹介している。園で感染症が発生した場合は、掲示やアプリ配信で保護者に発生状況を報告して注意を喚起し、まん延防止に向けた協力を得られるようにしている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p><b>保護者との対話に努め、把握した保護者の個別の事情に配慮した支援を心がけている</b>                  降園時には、連絡帳の記載事項にない話題を加えて子どもの一日の様子等を報告するなど、保護者とのコミュニケーションを積極的に図るようにし、その対話を通して、保護者の変化に気づけるよう努めている。何かを察知した際は、面談を申し入れて事情などを把握するほか、希望制の面談では寄せられた相談に応じ、保護者の妊娠や家庭の意向等に応じた登園時間で子どもを受け入れるなど、個別の事情に配慮した支援を行うことを心がけている。また、保護者の就労事情による急な延長保育や土曜保育の利用についても、柔軟な対応に努めている。</p> <p><b>行事等への参加を通じ、保護者同士の交流や養育力の向上の支援を行っている</b>                  運動会や発表会・「夕涼み会」は保護者も参加する行事となっており、保護者同士の交流の場となっている。年度当初のクラス懇談会では、自己紹介やゲームなどを通じて、送迎時間が異なる保護者同士が交流を図れるようにしている。またクラス懇談会では、年齢に応じた発達の目安や特徴とともに、職員がどのように関わるかを説明している。保育参観では、子どもたちが活動に取り組む様子や職員の子どもの関わりを見てもらっている。このほか、地域向けの支援事業への参加も保護者に誘いかけるなど、各家庭の養育力の向上に向けた支援も行っている。</p> <p><b>保護者との相互理解に向け、園の取組や子どもの様子を伝えている</b>                  園便りでは、子どもの様子や園の取組等を紹介しており、4月には園の保育目標・方針を掲載している。クラス便りでも4月にクラスの年間目標を、その後は月々の目標、前月の活動や子どもの様子を伝えるほか、年度当初のクラス懇談会でも年間目標を説明している。玄関ホールでは、給食のレシピや冊子にしたレシピ集を持ち帰れるようにするなど、給食の取組も発信している。子どもの園での姿を収めた複数の写真をアプリで毎日配信し、その一部は園内にも掲示するほか、昨年度末から運用を開始したSNSでも、子どもたちのさまざまな姿を伝えている。</p>		

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p><b>園周辺の自然環境や資源を活かし、多様な体験や交流の機会を設けている</b></p> <p>公園や川、近接する山など、園周辺の自然環境や資源を活かした活動を日々行っている。公園では、園にない大型遊具で遊んだり、花を編んで冠づくりをしたり、川では蟹を探したり、石積みをしたりして楽しんでいる。また近接する山で、集めた葉っぱに潜り込んだり、山の斜面をダンボールで滑り降りたり、基地づくりを行ったりするほか、松ぼっくりを拾って制作の材料として使っている。町役場の裏の畑では、年長児が大根の種蒔き・栽培・収穫を体験しており、町の農業委員や他園の年長児たちと交流しながら取り組んでいる。</p> <p><b>子どもたちが職員以外の地域の多様な年代の人々と交流できるようにしている</b></p> <p>年長児は近隣の高齢者施設を訪れ、歌やダンスを披露し、別の高齢者施設でも、例年発表会の演目を披露する中で、利用者と交流している。また近隣の幼稚園や保育所の年長児が集う交流会では、ダンスやゲームなどを一緒に楽しんでおり、地域支援「どんぐりくらぶ」で来園する地域の未就園児とも一緒に散歩に出かけている。保育士養成校からの実習生や夏季ボランティアの高校生なども来園し、保育の中で園児と関わるほか、町の図書館の職員が来園し、4・5歳児への絵本の読み聞かせを行うなど、子どもが多様な年代の人々と交流する機会を設けている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	多様な食育の工夫を通じて、子どもが食事の楽しさを感じられるような取組を行っている	
内容①	献立は旬の素材を活用し、素材の味や栄養バランスを考慮したメニューを提供しており、日当たりのよいテラスで食事をしたり、園庭の満開の桜の木の下での花見をしながらの食事など、子どもたちの希望に応じた環境を採り入れる工夫もしている。咀嚼の弱さや偏食が見られる子どもには、保育者と栄養士が連携し、就学までに改善につなげていけるよう、丁寧な個別の支援に努めている。その他にもおいしさや見た目の楽しさを感じられる行事食、バイキング形式で食事をする「お楽しみ給食」、卒園前の「リクエスト献立」など、さまざまな取組を行っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-6-2	サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている
タイトル②	職員の得意を活かした取組やチーム活動を通じ、種々の見直しと改善に取り組んでいる	
内容②	SNSが得意な職員の提案で、昨年度末にはインスタグラムを活用した園の広報の充実を図り、給食担当の職員は特技のDIYを活かして衝立を製作し、各保育室の間仕切りに活用している。また寒い冬でも子どもが楽に手を洗えるよう、乳児室では温水が出る自動水栓に変更している。職員参画の「質の向上」チームの活動では、保護者のニーズを踏まえ、給食レシピ集の制作や、事務室横の「みんなの声」での食に関する情報発信を行うほか、不適切保育の防止のための園内研修も企画している。事故等の検証を目的に、園庭・各室に記録カメラも設置している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	地域の多様な資源を活かし、子どもたちの生活と体験の幅を広げている	
内容③	園周辺の豊かな自然を活用し、近接する山や川で身体を動かして遊んだり、サワガニや自生する植物に親しんだりするほか、町役場の裏の畑では、年長児が大根の栽培・収穫を体験する中で、町の農業委員や他園の同年代の子どもたちとの交流を深めている。年長児が地域の高齢者施設に出かけ、歌やダンスを披露するほか、町の図書館から職員が来園し、4・5歳児に絵本の読み聞かせをもらう中で交流している。職場体験やボランティアの中学生や高校生のほか、保育の実習生が順次来園し、子どもたちと保育や生活をともにする中でふれ合いが持たれている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	四季折々の自然体験ができる環境を活かし、五感を刺激しながら遊びに取り組み、子どもたちの好奇心や探究心が養われている
	内容	「美しい自然の中で丈夫なからだをつくる」を保育目標に掲げ、四季折々の自然を生活の中に織り交ぜ、五感を刺激しながら、多様な活動を展開している。切り株や蔓、落ち葉や洞穴などの自然物を見て、遊びに採り入れようとする好奇心を培い、昆虫等の生態を間近に感じることで、さらに知りたいとの欲求から探究心が芽生えるなどの姿につながっている。大人は寄り添いながら遊びをともにするなどの姿勢を心がけ、主体的に取り組めるようにしている。園庭では、大型遊具や泥んこ遊び、サッカーなどの集団遊びなど、身体を動かす遊びも活発にされている。
2	タイトル	子どもや保護者以外にも、さまざまな人々と関わりながら、それぞれが楽しめる行事を開催している
	内容	運動会や発表会では、行事に向けて積み重ねた姿を保護者に披露するとともに、挑戦への意欲を持って掲げた種目や演目に、仲間と力を合わせて取り組んでおり、それぞれの子どもが達成感を抱き、自信を育むとともに、その姿から保護者も成長の喜びを感じられる行事となっている。また自然の素材を活用して制作につなげる伝承行事や、園内で特別な一日を過ごす5歳児の「デイキャンプ」、卒園児を招いて集団遊びを楽しむ「同窓会」、地域と連携する「夕涼み会」など、子どもや保護者、卒園児・地域などのさまざまな人とともに楽しむ行事も設けられている。
3	タイトル	地域の子育てと福祉の拠点として、集うすべての人々にとっての「幸せはぐくむ宝箱」となるべく、さまざまな取組を行っている
	内容	特色の一つとして注力する地域子育て支援では、体操・音楽遊びや制作体験・自然体験、各種行事への参加など、園の保育の資源に親子で触れるものから、子育て家庭同士の語らいの場やインファントマッサージの提供など、多様な取組を行っている。また実習生や職場体験生・ボランティア等の受け入れも積極的に行うほか、地域のネットワーク会議にも複数参画し、共通課題の検討やイベントの共催に取り組むなど、集うすべての人々にとって園が「幸せはぐくむ宝箱」となることを掲げる「誓願」の体現として、地域の子育てと福祉の拠点であるべく努めている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域全体の課題でもある子育て人口の減少に対応し、持続的な経営を実現するための、さまざまな方策の検討の推進を期待したい
	内容	町内全体の子育て人口が年々減少し、利用者の確保が地域の保育施設共通の経営課題となっており、当園でも今年度の定員減員など、持続的な経営に向けた対応に努めている。上述の子育て支援事業も、本来の目的である社会貢献とともに、未就園世帯に園の魅力を知ってもらう機会とも位置づけているが、同様に利用の減少が課題となりつつある。コロナ禍中の休止による認知度の低下も考えられることから、SNSの活用をはじめとする広報活動の活性化に取り組んでおり、その推進をはじめ、地域により積極的に訴求してゆくための方策の検討を続けられたい。
2	タイトル	注力する働く環境の向上や、同僚性を高めるためのより丁寧なコミュニケーションが、組織のチーム力をさらに高めることを期待したい
	内容	職員自己評価では、労働環境の快適性や組織の同僚性について、肯定的な声が多岐に寄せられる一方、現場からの課題認識も示されている。働く環境については近年改善に注力しており、職員からも成果に言及する意見が上げられている。経営層は引き続きその推進に取り組むとともに、組織の同僚性向上についても課題として真摯に受けとめ、何事においても「わかっている」前提で発信するのではなく、段階を踏んだ丁寧な説明に努め、相互理解の促進を図る意向である。取組が、当園の特色でもある豊かなチーム力をさらに向上させてゆくものと期待したい。
3	タイトル	現場が主体となって取り組む各種手引書類の整備の進展と、並行して行うそれらの更新が期待される
	内容	「保育マニュアル」をはじめとする手引書類は、職員参画の「質の向上」チームが現場の意見をまとめ、必要なものを見直すこととなっている。現在活用している町が作成した虐待防止マニュアルを、園が作成するものに置き換える等、手引書の充実も図りたいと考えており、現在あるものを活かしつつ、手順のフローチャート化など、必要な手引書類の整備に向けた今後の取組を期待したい。また今年度の園内研修で得られた、不適切保育の防止に関する組織の共通認識を、手引書等に反映させるなど、整備と並行した内容の更新にも期待したい。